



### No.78

#### AED (自動体外式除細動器) の設置とAED救急救命講習会を開催しました。

地質標本館に、AED (自動体外式除細動器) が設置されました(写真1)。常設展示施設である地質標本館には、年間25,000～35,000人の来館者があります。万が一、来館者に不測の事態が生じた場合には、当該装置が役立つことと思います(もちろん、この装置

を使用する事態にならないことが一番ですが)。

これに伴い、地質標本館関係者を対象にAEDを使った救命救急講習会が開催されました(写真2)。産総研健康管理室の五十嵐和子氏を講師としてお招きし、人体モデル人形を使って、装置の取り扱いや心臓マッサージ等について指導を受けました。

講習は二人一組になって、来館者に不測の事態が生じたとの想定で開始されました。緊急連絡の通報・心臓マッサージ(写真3)・AED装置の取り扱い(写真4)を、参加者全員が体験し終了いたしました。

館内において、万が一不測の事態が発生した場合、今回の講習会での訓練を活かし、迅速かつ冷静な対応が出来るよう、職員一同心掛けていきます。

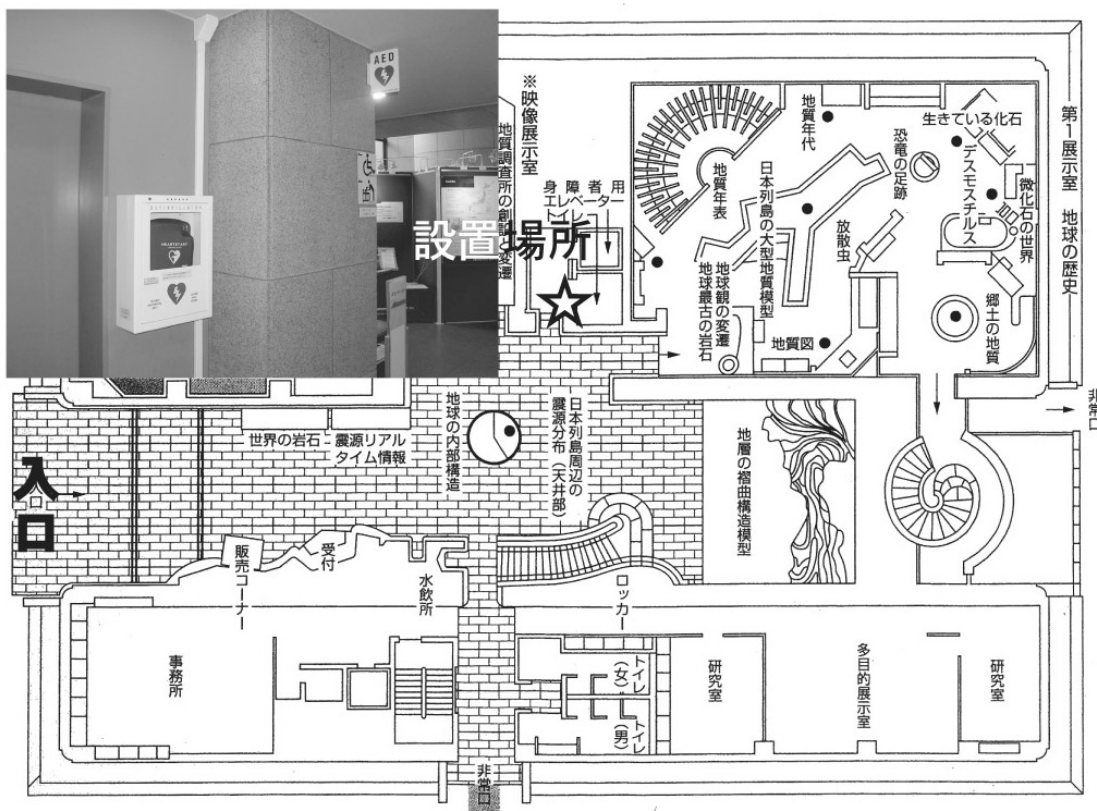


写真1 設置場所(1F玄関ホール)図。



写真2 講師による全般説明.



写真3 心臓マッサージ訓練.



写真4 電極パッドの装着訓練.